

町内文化団体との懇談会

広報広聴常任委員会総務教育部会

— 令和5年6月23日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	川村 明雄
副部長	平野 隆雄
委員	杉村 志朗
	溝部 幸基



年齢を問わず
交流できる環境を作り、
活動の輪を広げていきたい

団体の現状と課題は？

昨年、数年ぶりに町民文化祭を開催することができました。コロナ禍により開催を見合わせていましたが、再開できて嬉しく思います。新たに若い世代の参加もあり、新鮮な雰囲気になりました。

町民文化祭は各種文化団体が主体となって開催運営を行っています。人口減少や高齢化に伴い団体に所属する人数が減少し、主体的な運営が難しくなっています。

多くの団体で共通している課題は、人口減少や高齢化による加入者の減少と、活動の場が少ないことです。活動の場を広げるため、敬老会等の町内行事で力になりたいと考えている団体もあります。

協議会としては、各団体の状況を確認するためにも、話し合いの機会を設け、文化活動の継続と発展のため協力しあえる体制づくりを進めていきたいと思っています。



【総合文化部】

福島商業高校の部活動。書道、写真、イラスト、軽音楽、ダンスなど幅広く、部員一人ひとりが好きな分野で活動している。全校生徒28人中19人が所属。

生徒が参加・発表できる場が少ないため、町民・町・高校生が関われる場を作りたい。

卒業後も生徒が町に残り、福島町での文化活動に関わり続け、町の文化を発展させる財産となればと考えている。

【You more.】(ユーモア)

高校卒業後から4人で活動している軽音楽バンド。コロナ禍で活動する場がなく困っていたが、昨年初めて町民文化祭に参加。勝手がわからないながらも、他団体の方々の助けを借りてステージに立つことができた。町内に住む若い世代へのアピールが自分たちの役割の一つだと考えている。

注目!!
若人の活動!

農業協同組合との懇談会

広報広聴常任委員会経済福祉部会

— 令和5年6月26日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	佐藤 孝男
副部長	藤山 大
委員	平沼 昌平
	小鹿 昭義
	平野 隆雄
	溝部 幸基



担い手不足解消に
“食べていける農業”を

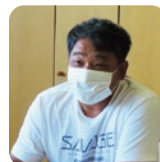
団体の現状と課題は？

高齢化が深刻で、後継者がいない方も多い状況です。機械の老朽化も進み、特に主要作物である稲作で使用する乾燥・精米用機械の老朽化が酷いため、共同で購入できないか検討しています。

新たに農業を始めた方が農業収入だけで生活するのが難しいのも課題です。担い手や後継者不足を解消するためには、農業収入を増やし“食べていける農業”にしなければいけません。

作物に付加価値をつける、販売ルートの開拓を行う等の方法も考えられますが、個人で行うには限界があります。将来的には農業法人や集落営農ができればと考えていますが、道半ばです。

横綱しいたけについても、年々原木の確保が難しくなり、値段も高騰し、良質な原木入手が困難となっているなど様々な課題を抱えています。



夏は農業による収入がないため、他の仕事をかけもちしています。

物価上昇により、肥料は8割、農薬は2割、資材は4割ほど高騰しています。価格に反映させては買い手がつかなくなるため、経営が苦しくなっています。

町内で生産された野菜の販売所は建物がとても小さい上、出入口が一つしかなく、2、3人で身動きが取れなくなってしまう。お客さんが快適に買い物できる建物にできないか検討しています。

大変な状況ではありますが、福島町で農業を続けていくため、今まで以上に協力しあっていきたいと思っています。



町内スポーツ団体との懇談会

広報広聴常任委員会総務教育部会

— 令和5年6月26日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	川村 明雄
副部会長	平野 隆雄
委員	木村 隆
	杉村 志朗
	溝部 幸基



子供たちが
安心してスポーツに
参加できる環境を

団体の現状と課題は？

人口減少と少子高齢化により、野球やサッカー等の団体競技が難しくなっています。

しかし、各種目の少年団や社会人野球等では、近隣町との合同チームによる試合出場や、大会方式の見直しといった柔軟な対応によって活動を維持しています。

コロナ禍による制限が徐々に緩和され、全道・全国規模の大会へ出場する機会も増えてきました。しかし、宿泊料金や大会参加費等の金銭負担がコロナ禍前に比べて増えています。町からの助成制度について、現状に合った形に見直してもらえるとありがたいです。

子どもがスポーツをしたいと希望しても、金銭面等の負担から保護者が難色を示すケースもあり、スポーツをしたい子の気持ちをできる限り叶えてあげたいと思っています。



学校の部活動の指導を地域に移行する動きがありますが、十分な受け皿がなく、指導者の確保が必要になります。

課題が山積みですが、子供たちが安心してスポーツに参加し、大人も楽しく活動できる環境づくりに向けて議論を深め、活動していきたいと考えています。



商工会青年部との懇談会

広報広聴常任委員会経済福祉部会

— 令和5年6月29日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	佐藤 孝男
副部長	藤山 大
委員	平沼 昌平
	小鹿 昭義
	平野 隆雄
	溝部 幸基



町内の団体と連携して、
活動を広げていきたい

団体の現状と課題は？

町内外のイベントへの出店、雪まつりや夏祭りといった町内イベントの主催等を行っています。雪まつりは町外から家族で遊びに来ているケースもありました。子ども達は雪の中で思いっきり遊ぶことができ、家族は子どもの姿を見て楽しめるイベントになりました。

岩部クルーズ等の活動により町を訪れる人が増えてきましたが、クルーズと記念館を見て終わり、となっているのが実情です。最近、全国的に流行しているキャンプにも注目し、「キャンプができる環境を整備できないか？」と模索しています。

町内経済を活性化させるためにも、町内事業者の商品を売買できる大きな売り場の必要性を強く感じています。



様々な活動を実施、模索していますが、部員数が減少しており、後継者もいないことから活動を継続していくことができないのか不安があります。

新しい部員を勧誘しようにも、後継者のいない事業者が多いのです。部員の少なさという課題を抱えていますが、人数さえ確保できれば実施できる活動も増えていくので、漁組等他団体と連携した取り組みができるよう交流を図っていければと考えています。

